

旧荒尾第五中学校・旧観光物産館の利活用に関するサウンディング型
市場調査の結果概要の公表

旧荒尾第五中学校、旧観光物産館の市場性や今後の利活用の方向性を検討するために実施した、サウンディング型市場調査の結果概要を公表します。

1. 実施概要

【実施内容】

「旧荒尾第五中学校・旧観光物産館の利活用に関するサウンディング型市場調査実施要領」に沿って、実施要領の公表、現地説明会の開催、サウンディング（対話）を実施しました。

また、事前に九州フィナンシャルグループ（以下「九州FG」という。） PPP/PFIプラットフォーム第11回個別勉強会において、プレゼンテーション及び質疑応答を実施しました。

【実施スケジュール及び参加団体数】

実施事項	月 日	参加団体数
九州FG PPP/PFI プラットフォーム	平成30年 7月27日	21
実施要領等の公表	平成30年 8月 6日	
説明会・現地説明会の開催	平成30年 9月 4日	1
サウンディング（対話）の実施	平成30年 10月30日	1

2. 結果概要

サウンディング（対話）について、1団体から以下の通りのご意見がありました。

【旧荒尾第五中学校】

No.	用 途	施設活用	サウンディング（対話）内容
1	室内農業・植物工場	既存施設の賃貸	<ul style="list-style-type: none">・施設規模が大きく機能が多彩であるため、一体的ではなく複合的な活用・行政的機能（避難所、住民交流）を確保しながら他スペースを活用・地元農家、農業産業との差別化

【旧観光物産館】

No.	用途	施設活用	サウンディング（対話）内容
1	小規模多機能型 居宅介護支援施設	既存施設 の賃貸	<ul style="list-style-type: none">・規模等から一体的活用が見込める・市内での地理的優位性を活かし活用・将来的課題（地域包括ケアシステムの 充実）に対応可能な施設が必要
2	学童保育施設	既存施設 の賃貸	<ul style="list-style-type: none">・規模等から一体的活用が見込める・市内での地理的優位性を活かし活用・定住促進策（子ども・子育て支援）の 充実が必要

3. 今後の方向性

今回のサウンディング型市場調査では、1団体から貴重なご意見・ご提案を頂きました。

サウンディング（対話）を行った結果、施設規模や機能、公共インフラとの距離などマッチングし難い面等ありながら、民間活用の可能性を有することが確認できたところです。

今後、公共活用と合わせ本調査で得た内容や、本調査の過程で頂いたご意見等を参考に、地域振興や産業振興に繋がる活用に向けて検討を進めていきます。

4. お問い合わせ先

担当：荒尾市役所 総務部 公共施設マネジメント推進室

住所：〒864-8686 熊本県荒尾市宮内出目 390 番地

電話番号：0968-57-7160 FAX：0968-64-0940

Eメール：koukyou@city.arao.lg.jp